

南方共榮圏向私設用電話交換機

南方共榮圏には私設用電話交換機として如何なるものが最も適當であらうか、今や世人の關心は等しく南方に注がれてゐるので南方向として特に考慮すべき點及び之に該當する製品の二三に就いて簡単に紹介し度い。

南方向として特に考慮すべき點

- 1) 熱帯地方と云ふ事から先づ第一に巻線の温度上昇が問題となるのであるが電話用としては既に相當安全性を持つてゐるので特に限界附近にあるものを低下せしめる程度で良い。
- 2) 鍍金は特に良好なものでないと、高温多湿であること温度の變化の大であること等に依つて金屬表面に露滴を生じ易く時に鹽分の附着等に依り錆を生じる虞れが多分にある。
- 3) 繼電器、表示器等の巻線法、口出法、絶縁法、包装法等は特別な方法を行はぬと上記の理由から来る絶縁低下を避け難い。
- 4) 接續紐を使用するものは紐の吸濕性に依つて絶縁低下を招くので其の屈撓性を失はずに防濕性を與へる必要がある。
- 5) プラグは鐵、鍍に依る絶縁降下がある。殊に鞘にファイバーを使用するものは其の高温吸濕性の爲に形狀が崩れ易い。
- 6) 蓄電器の充填用混和物は高温に耐へるものが必要である。
- 7) 送話器は炭素粒が吸濕性である爲通話能率の低下を來し易いから密閉型である事が絶對的に必要であらう。
- 8) 交換機に使用する木組は高温多湿の爲ベニヤ組では剥げ易い。木取りも反り狂ひに對し、塗裝も蟲害に對し、夫々充分考慮する必要がある。
- 9) 熱帯地方に於ける電話の普及率は第一表で明かな如くその程度は極はめて低い。

第一表 電話普及率(%)

	人口(萬人)	電話局數	加入者數	普及率(%)
日本内地	7200	6870	105,3716	1.463
滿洲國	3700	251	11,0000	0.297
華北	7700	131	5,2800	0.068
香港	103	4	1,5000	1.456
比律賓	1600	17	3,0000	0.187
佛印	2300	151	6500	0.028
蘭印	6100	339	4,2200	0.068
ボルネオ	74	53	600	0.081
泰國	1400	39	4600	0.032
チモール	46	0	0	0
馬來	527	208	1,7000	0.322
ビルマ	1680	127	1,5200	0.090
印度	3,8000	463	7,7100	0.020
濠洲	680	6362	69,1088	10.163

茲で特に世人の注意を喚起し度いのはジューメンス、ハルスケ社に於ては夙に之が對策を研究完成せられ弊社輸入の製品は熱帯地

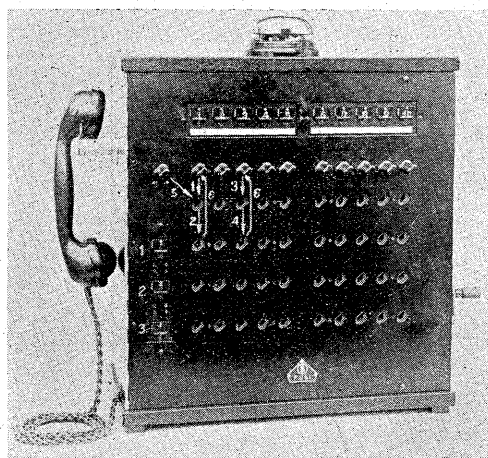
向 Tropical として供給せられてゐたと思はれる事である。従つて SH 型自動交換機及附屬機器の設計製作技術は取りも直さず熱帯地向なのである。此の事は先般電氣試験所に於て行はれた電話用機器熱帯試験結果に於て SH 型機器が優秀な成績を示した事でも推察される。併し吾人は之にて熱帯地向として充分であるとは思はず、從來の内外地に於ける使用成績及び上述の諸點に就いて更に萬全を期する覺悟である。殊に私設用電話装置に於ては局装置と違ひ、

- 1) 設置場所の状況が受註當時に判り難いこと。
 - 2) 保守者に優秀なる熟練者を得難いこと。
 - 3) アドソール装置の如き高價なる附屬設備を望み難いこと。
- 等より一層の注意と親切とを要する。

従つて交換方式等に於ても文化程度の高い特別の地域を除いては自動式より共電式が、共電式より磁石式が好まれ易い。而して共電式、磁石式に於ても從來の有紐式のものより無紐式のものが一層適應性を持つものと思ふ。

C 型磁石式無紐交換機 本交換機は從來のジャックの代りに燐青銅の螺旋彈條を縦横各二條の溝に收め、此の交叉點に接續紐の無い合成樹脂成型の不銹鋼接續栓を挿入することに依り接續を完了するもので、小型にして體裁優美、取扱ひの簡單、保守用品の不要、障礙の僅少等の利點をを挙げ得るもので、收容容量に依り下記の三種がある。

型 式	私 設 線	交換手電話回線	接續回線
C 1 號	1 0	1	3
C 2 號	2 0	1	6
C 3 號	3 0	1	9



第1圖 C 1 號 磁石式無紐交換機

- 取扱方法 1 = 應答 4 = 接續
2 = 接續 5 = 聽話 (必要 = 應ジ)
3 = 呼出 6 = 終話

(297 頁へ續く)



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。